

事例集の見方

事例集の見方は下記の通りです。

■ 事業内容のわかる写真や図のイメージ
事業内容がわかる写真や図を掲載しています。

■ 対策名
事例に対応する加速化対策名(全123項目)を記載しています。

■ 主たる施策グループ
事例が主として該当する施策グループを記載しています。164ページ以降にグループ毎の索引を設けています。

■ 事業名
事例の事業名を記載しています。

■ 地域の概要・課題
事例の背景となる地域の概要や課題について、記載しています。

■ 事業の概要
事業(取組)の概要、実施状況を記載しています。

■ 事例のフレーズ・実施場所
事例内容・効果を端的に表したフレーズ、実施場所を記載しています。

■ 事業者名
事例の事業者名を記載しています。

■ 施設分野
加速化対策の分野をアイコンで表しています。156ページ以降に分野毎の索引を設けています。

■ 事例のポイント
事例の内容、効果について、端的に記載しています。

■ 効果
①災害時に発揮された効果、②5か年加速化対策の内容と同様の対策が既に取られていて災害時に発揮された効果、③災害の際に今後見込まれる効果のいずれかを記載しています。

河川の流域治水対策により、浸水被害を軽減する(奈良県奈良市・王寺町・三郷町・田原本町等)

国土交通省 大和川河川事務所
事業者: 大和川流域自治体(奈良県)

河川整備の状況

河川整備の状況: 河瀬掘削範囲(整備済)、築堤区間(整備済)

大和川
王寺町 87m³
三郷町 67m³

※数字は総雨量を表す

貯留施設の状況

奈良市横井地先遊水地(県)
田原本町雨水貯留施設(町)
田原本町社会福祉協議会駐車場雨水貯留施設(町)

流入状況 貯留状況

対策名: 1-1 流域治水対策(河川)

主たる施策グループ: 1-4 河川治水対策(河川)

事業名: 大和川 流域治水整備事業など

ポイント:

- 河道掘削・遊水地等の河川整備、貯留施設整備、ため池の治水活用等の流域全体での治水対策を実施
- 大雨による浸水被害を大幅に軽減

地域の概要・課題
大和川(奈良県)は、奈良盆地の低平地を流れており、狭窄部から放射状に広がる156本の支川が本川に集中するなど、水害が発生しやすい特性を有しています。また、高度経済成長期の急激な都市開発等によって水田やため池などが減少、保水機能が著しく低下し、都市型水害が頻発しており、水災害への対応が求められていました。令和3年12月には特定都市河川に指定するとともに、大和川流域水害対策計画を策定し、関係者が協働して流域治水の本格的実践に取り組んでいます。

事業の概要
大和川水系では、河道掘削・遊水地等の河川整備に加え、貯留施設整備やため池の治水活用等の流出抑制対策など、流域治水の取組を実施しました。
令和5年6月梅雨前線による大雨での水位低減効果

大和川12.6km付近
改善前水位38.09m
今水位37.78m HWL=36.59m
計画堤防高 38.09m

効果
令和5年6月梅雨前線による大雨では、大和川流域で平成29年10月出水と同規模の雨量を記録しましたが、河道掘削や遊水地・雨水貯留施設の整備など、流域全体での治水対策により、浸水戸数が大きく減少しました。

※観測地点上流の連続平均雨量

12時間雨量(mm)	H29.10出水	R5.6出水
155	140	

浸水戸数(戸)	H29.10出水	R5.6出水
258	43	

沿道の浸水状況<H29.10時点>
沿道の浸水状況<R5.6時点>

■ 5か年加速化対策の分類と冊子の構成
5か年加速化対策の分類は、以下の通りです。1、2、3の大分類ごとに中扉を設けているほか、分類ごとにタブの位置で区別しています。

- 【5か年加速化対策の分類】**
1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
 - (1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策
 - (2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策
 2. 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策
 3. 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
 - (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化
 - (2) 災害関連情報の予測、収集・集積・伝達の高度化